

宗谷

宗谷教職員組合

「宗谷情報」No.5 平成27年7月1日発行
発行責任者:高 一伸

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
web : http://www.soya-teachers.org Mail : info@soya-teachers.org

メールは
こちら



このままでは、

教え子が戦場に行く時代が来ます。

そうならないために、大人がいまできることは...

「戦争をしない」と定めた憲法は、こうした考えを進めたい人たちにとって「やっかい」です。そこで、「**憲法を『読み替えて』**」という**ウラ接で**、

みんなが「違憲だ」と知っている戦争をできるようにしようとしています。

「戦争できる国」にしよう

いま、国の仕組みや平和に対する考え、様々な法律を変えることで、**日本を「戦争できる国」にしよう**

ということが国会で論じられています。

70年前、日本は「戦争をもうしない」ということを決めました。

日本国憲法の誕生です。

それから長い年月が経って、戦争を知らない大人が増えてきました。

災害派遣や地域貢献などで活躍している自衛隊が、これからは**世界の平和を守るため、仲間の国を助けるために**、

「日本の平和が危ない」かどうかの判断を、政府のほんのわずかの人数で決められるようになり、場合によっては、事後承諾だったり、ありになつてしまいます。

テレビやラジオは 政府が「いいね」と思う情報を優先して発信したり、政府が「国民には知ってほしくない」と思うような内容は、隠すようになってきています。

地球の裏側にまで出かけるようになると、戦争に巻き込まれるかもしれません。

学校教育は 政府の方針に沿ったものになっていくことだつてあるでしょう。歴史認識の政府見解を教える事や、道徳の教科化による内容など。

学校という仕組みも変わってしまうかもしれません。

「ぼくたち、戦争に行くの!？」と不安に思っている子どもたちがいっぱいいます。

私たち大人は「忙しから」と無関心だったり、報道から目を背けてはいけません。

こうして、70年間大切に生きてきたひとりひとりが人間らしく生きることや人の命の大切さ...ということは、大事にされなくなりました。

一番大事なものは「国」になるのです。

「我が子を戦争には行かせない」「平和な毎日を過ごしたい」「戦争はこわい」

今ならまだ間に合います。

ひとりひとりがちよつとずつ勇気を出して**平和な日本を子どもたちの時代に託しましょう。**

6.20 戦争をさせない北海道大集会

全道各地から、5,500人が集まりました。市民団体や北教組、そして道労連・道教組など様々な団体が集い、「戦争法案反対」をアピール。宗谷からは3名で参加しました。



19歳のフリーター高塚さんの呼びかけで若者が700人も集まりました。団体に属さないで、しかも自分の声で「戦争は怖い」「戦争はイヤ」と呼びかける姿は、全国的にも大きく取り上げられました。



戦争したくなくてふるえる6.26行動

発起人・高塚愛鳥さんの街頭スピーチより

「あのとき声を上げればよかった」って思うような日本はきてほしくないですが、もしかしてそういう日本がきてしまうのかもしれませんが。あとで後悔するよりも、今声をあげて、今アクションを起こしておくべきと私は思います。戦争はイヤ、平和がほしい。誰も殺したくない...そんな気持ちだけでいいじゃないですか。知識がなくなっているじゃないですか。なんで、平和な日本をもとめることが悪いんですか。「戦争法案」が9月に通ってしまうまで、もう時間がありません。今求めているのは自分の声をあげるということなんです。みんなで声をあげましょう。みんなで「戦争したくない」って言いましょう。誰も殺したくない、守りたいものがあるってみんなで声をあげましょう。【一部抜粋】

全国で、札幌で、そして稚内で...
「戦争はイヤだ」「憲法を守ろう」の声、
どんどん広がる!

いま、国会で起きている

国会で審議されている安全保障法案。6月末までの会期では大幅に延長されました。九月末までに延長された会期中で、まずは7月末に衆議院で可決し、「六十日ルール(*1)」によって、参議院での可決によらず、法案成立が狙えるほど、長い長い会期の延長です。

みなさんのまわりでは、この「安全保障法案」について話題になっていますか？

運動会や中体連に向かって忙しかった六月。正直、なかなか日常の話題にのぼらないという声を聞きます。一方で、国会では冒頭に書いたように粛々と審議を進めようとしています。六月二六日に、安倍首相は「決める時には決める」と本会議で答弁しました。このままでは、教え子が再び戦場に行かなければならない時代がやってきます。『またまた、大袈裟な』という方もいるかもしれませ

*1 「60日ルール」
衆議院で可決され参議院に送付された法案が60日以内に議決されない場合、衆議院は参議院が法案を否決したものとみなす、憲法59条4項の規定。

*2
東京新聞6月30日朝刊などが報じる。

全国で、札幌で、そして稚内で...
「戦争はイヤだ」「憲法を守ろう」の声、
どんどん広がる!

おもて面だけでは紹介できなかったのも、つづきです。

6.28ピースウォーク わからない市民集会

この稚内でも、市民集会。70名以上の方が参加しました。宗谷教組も参加を呼びかけ。稚内だけでなく、礼文・枝幸・豊富・猿払から参加が15名の先生方が参加しました。



6.20 「教え子を戦場送らない」 北海道教職員集会

高教組・北教組などが中心となって「教え子を戦場に送らない」北海道教職員集会を開催。宗谷から3名、道教組全体で18名が参加し、組織を超えた共同が広がりました。

これからも まだまだ続く「戦争反対」の取り組み

7月11日 「わたしたちは戦わない! 大集会&パレード in 北海道!」

北海道弁護士会をはじめ、旭川・釧路・札幌・函館の各弁護士会が主催し、日弁連が共催した1万人規模の集会です。
日時 2015年7月11日(土)スピーチ午後2時~/パレード午後3時~/
会場 札幌市・中島公園「自由広場」
主催 北海道弁護士会連合会

宗谷教組では、参加される方を大募集中! 詳細は宗谷教組本部まで。

出かけなくても、 あなたの机ですぐできる「教職員投票」

職場の中で話題にすることや、声を束ねて国会に要求をするための「全国教職員投票(ひとこと要求書)」に取り組みましょう。



シンプルに、いま起こっていることを整理してみたいと思い、宗谷情報「特別号」を発行することにしました。

みなさんは、「絵本『戦争のつくりかた』」を知っていますか? おもて面の記事を書こうと思ったきっかけは、インターネットで何気なく見つけた「りぼん・プロジェクト」のホームページでした。2004年に初めて作られた「絵本『戦争のつくりかた』」。今、読むとドキリとします。ぜひ、検索して読んでみてくださいね。

東京・新宿からスタートした取り組み「いつでも どこでも だれでもできる『スタンディング』」というアピール方法があるそうです。「憲法を守ろう」などとアピールグッズをもって、街頭に立つ...というもの。ひとりでもできる取り組みです。

札幌をはじめ、全国各地で私たちよりも、もっともっと若い、学生をはじめとする若者たちがデモを企画するなど、自分たちの問題として「戦争」を考え始めています。そんな彼らよりもっと若い小中学生と共に日々を過ごす私たち。何ができるか、みんなで考えていきましょう。(naity)

まだまだ広がる 市民集会

全国各地で続々と集会が企画されています。こうして声をあげることが、教え子たちの未来を明るくしていくのです。



7月6日(月)は 組合費 引き落とし日です。

いつも組合費の納入にご協力をありがとうございます。7月5日は、6月手当分の組合費引き落とし日です。「いつもの組合費+2,000円(臨時闘争費)」の金額が納付金額となります。残高の確認等、ご確認をお願いします。